

# だ液によるがんリスク検査サービスのご紹介(1/2)

## 【本検査サービスの検査・解析機関】

### 株式会社サリバテック 会社概要

Saliva Tech

- ✓ 所在地 山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2
- ✓ 事業内容 スクリーニング検査事業  
新規スクリーニング開発事業  
(衛生検査所登録番号 庄内保健所 第6号)  
検査受託におけるプラットフォーム開発
- ✓ 設立 2013年12月3日
- ✓ 代表取締役 砂村 眞琴
- ✓ 資本金 4億9,355万円



#### 代表取締役CEO 経歴

- 1981年 青森県立中央病院研修医
- 1983年 東北大学第一外科 入局
- 1987年 東北大学医学部博士号取得
- 1990年 カナダ国McGill大学リサーチフェロー
- 1997年 米国Pittsburgh大学癌研究所(文部省在外研究員)
- 2002年 英国Cancer Research UK研究員
- 2003年 京都大学再生医科学研究所非常勤講師
- 2005年 東北大学医学系研究科消化器外科 助教授
- 2006年 東北大学医学系研究科分子病理非常勤講師
- 2007年 医療法人社団宏陵会理事長 (現任)  
大泉中央クリニック 院長就任 (現任)
- 2010年 東京医科大学八王子医療センター兼任教授(現任)
- 2013年 慶應義塾大学医学部非常勤講師 (現任)  
株式会社サリバテック代表取締役CEO (現任)

## だ液によるがんリスク検査サービスのご紹介(2/2)

### だ液によるがんリスク検査の特徴

# “自宅で簡単”・“痛くない”・ “死亡率Topがん種のリスクを1度で検査”



#### 自分も家族も安心

もしがんになっても、早期発見ができれば治療の負担も少なく、ご自身も家族も安心です。

#### 1度に複数のがんのリスクがわかる



肺がん



膵がん



胃がん



大腸がん



乳がん  
※女性のみ



口腔がん



#### 痛くない

数滴のだ液を採取するだけなので、体に負担をかけません。血液検査が苦手な方でも安心して受けていただけます。



#### 確かな臨床研究

SalivaChecker®のだ液によるがんリスク検査技術の基礎となった研究は、多くの論文が国際的な学術誌に掲載されています。サリバテックHPに論文の一覧を掲載しています。

# 検査結果レポート（イメージ）

- ✓ 各がん種ごとにA、B、C、Dの4段階で検査結果を評価しています。\*1
  - ✓ 結果がCまたはDの場合、高リスク判定として分類されます。
- \*1 将来のがんへの罹り易さではなく、今現在、がんがあるリスクを示します。

〒999-8301  
山形県鶴岡市〇〇町1-2-3  
佐藤 一郎 様

**SalivaChecker**  
サリバチェッカー®

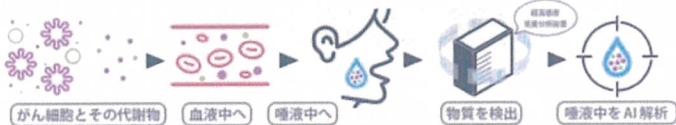
## 検査結果のご報告

ID SK00000-99999 SOMPO ホールディングス 987654

今回採取日:2019年6月13日 / 報告日:2019年12月31日

### サリバチェッカーとは

血液を通し、だ液の中にしみ出る代謝物質のうち、がん細胞によって特に多くなる多数の物質を検出。人工知能(AI)が解析し、臨床研究データと照合して現在のがんのリスクを調べています。



### 検査結果を見る前に

1. 本検査は診断などの医療行為に該当するものではありません。本検査により得られる情報は、医師による診断に代わるものではありません。
2. 本検査ではがん細胞のある特定の事象に着目してリスクを評価しておりますが、がんが発症する、またはがんが罹患する原因は複数あります。そのため…(3.および4.に続く)
3. 本検査でリスク値が高いと評価された場合でも、現在がんが罹患していることを確定するものではありません。
4. 本検査でリスク値が低いと評価された場合でも現在がんが罹患していないことを保証するものではありません。

検査結果				
リスク評価結果				
	A リスクが より小さい	B リスクが 小さい	C リスクが 大きい	D リスクが より大きい
肺がん	○			
膵がん			○	
胃がん	○			
大腸がん			○	
乳がん	○			
口腔がん	○			

あなたのだ液を測定した結果、以下の通り評価されました

※本検査はがんのリスクを評価するものであり、診断を行うものではありません

※高リスクと評価されたがん種がある場合は、医師にご相談の上、精密検査をご検討ください。

リスクが高いと評価されたがんはありませんでした。	○ リスクが高いと評価されたがん種がありました。	再検査の対象です。再度だ液を採取し、検査することをおすすめします。
--------------------------	--------------------------	-----------------------------------

だ液の状態を下部に示しております。再検査をすすめられた場合、口腔内の環境、だ液の状態、その他の要因がリスク評価に影響を与えた可能性があります。

今回のだ液の写真	だ液の状態	歯周病の傾向 (口腔内の環境)	その他の要因は 以下が挙げられます。
	適正	低	・食事の影響 (咀嚼、しじみ等)
	○ 白濁、混入あり	○ 中	・服薬、喫煙等の影響
		高	・口腔内の乾燥 (だ液が出にくい)
			・だ液を無理に出した

※仕様は一部変更になる可能性があります。

## 本検査サービスの位置づけ

- ・本検査サービスは診断などの医療行為に該当するものではなく、リスクが高いと評価された場合には直接医師へご相談の上、**早期に精密検査等を受けて頂く**ことを目指しています。

\* 検査後にご相談可能な窓口としてサリバテック社との提携先医療機関（全国約300箇所）をご案内しております。

非医療  医療

